

オンラインを活用した居場所づくりの 取り組みについて

KATARIBA
Shape the Future

Result 2021年度(2021年9月1日～2022年8月31日)の実績報告

2021年度は17の事業で合計**83,278人**の子どもたちに活動を届けました。
「誰ひとり取り残さずにまなびにつなぐ」とともに「探究的な学びを届ける」ことに取り組みました。

※地図に掲載のない取り組みも多数実施しております。

1 通信教育事業 13 中学校の子どもたちの授業に探究的な学びの機会を届けるアリアス

2 地域連携事業 4 児童や若者、若年コロンなどがある。誰ひとり取り残さずによる学びにつなぐアリアス

カタリバ

424人のボランティアキャストが
3,696人の生徒へ「ナノメ」の関係による
学習の対話」を届けました。



マイプロジェクト

13 中学校の子ども

全国の高校生 **69,985人**が
マイプロジェクトに参加しました。



カタリバオンライン for Teens

13 中学校の子ども

オンラインによる対話と創造的な学びの機会を、
全国の高校生 **412人**に届けました。

キョウブツカイ

13 中学校の子ども

ヤングケアラーを含む生活困窮世帯の
全国 **391人**の子どもたちと
その保護者 **274人**に、
オンラインによる伴走支援と
学びの機会を届けました。



13 中学校の子ども

全国 **61校**の中学生 **753人**に、
「校則を主体的に見直す対話の機会」を
届けました。

富岡市教育魅力化プロジェクト

13 中学校の子ども

富岡の未来をひらく
高校生 **468人**に
「地域ならではの教育プログラム」を
届けました。



不登校の小中学生 **71人**に、安心できる場と
学びの機会、社会とのつながりも届け、
保護者 **71人**に寄り添いました。

b-lab

13 中学校の子ども

中学生の学習拠点を
2,702が利用しました。



アグチベース

13 中学校の子ども

困難を抱える子どもたち **241人**に、
学習や食事、体験活動も届け、
自立する力を育みました。

RoOTS

13 中学校の子ども

外国ルーツの高校生たち **221人**の
学びに奔走しました。



ユースセンター起業塾

13 中学校の子ども

10代のための場づくりを、
全国 **12道県14団体**で行い、
654人の子どもたちに
居場所を届けました。

sonaeru

13 中学校の子ども

事業で被災したのべ **741人**の子どもたちに、
のべ **19人**のボランティアと共に
「安心して過ごせる居場所と学びの場」を
届けました。

大塚高校魅力化プロジェクト

13 中学校の子ども

大塚高校の生徒 **213人**に
役割を担う人材になれるような
探究的なカリキュラムを届けました。

コロボ・スクール

13 中学校の子ども

1,160人の東北の小中学生に
「未来を思い描く力」を届けました。



認定NPO法人カタリバは、
日本のすべての10代が、
生まれ育った環境に関係なく
未来を拓けるよう、
安心できる居場所や食事、
多様な学びの機会を届けている
2001年創設の教育NPOです。

オンラインの居場所づくりとは？



オンラインの居場所づくりとは？

自分はこことつながることで、**とても多くの方と出会うことができました**。たくさんのスタッフの方とお話して、自分の将来のことを考える時間ができました。ここは自分にとって**数少ない居場所**になっています。（中3・男子）



わたしにとってここは、家族以外の大人の人に自分の思いを聞いてもらう**安心できる場所**です。（高2・女子）



全国から様々な困難を抱えた子どもが居場所につながる

年齢

小学生～高校生

困難

経済困窮、きょうだい児・ヤングケアラー、不登校、
発達障害、外国ルーツなど

2023年4月末時点の利用者数457名

都道府県別（単位：人）

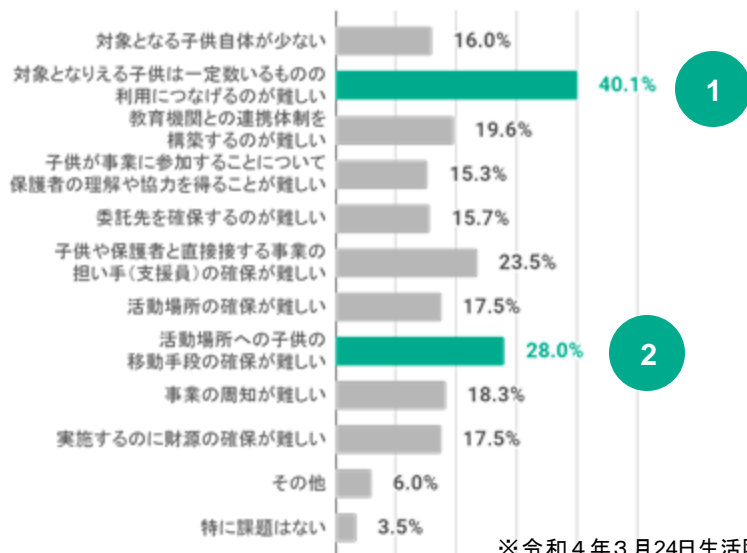
北海道	14	茨城県	10	新潟県	1	三重県	5	鳥取県		福岡県	5
青森県	4	栃木県	1	富山県	2	滋賀県	2	島根県	3	佐賀県	3
岩手県	3	群馬県	6	石川県	5	京都府	4	岡山県	8	長崎県	5
宮城県	6	埼玉県	48	福井県	2	大阪府	9	広島県	13	熊本県	12
秋田県	1	千葉県	19	山梨県		兵庫県	49	山口県	1	大分県	1
山形県	3	東京都	75	長野県	8	奈良県	1	徳島県		宮崎県	3
福島県		神奈川 県	39	岐阜県	12	和歌山 県		香川県		鹿児島 県	2
				静岡県	21			愛媛県	7	沖縄県	4
				愛知県	31			高知県			

地域の居場所だけではつなげられない子どもがいる

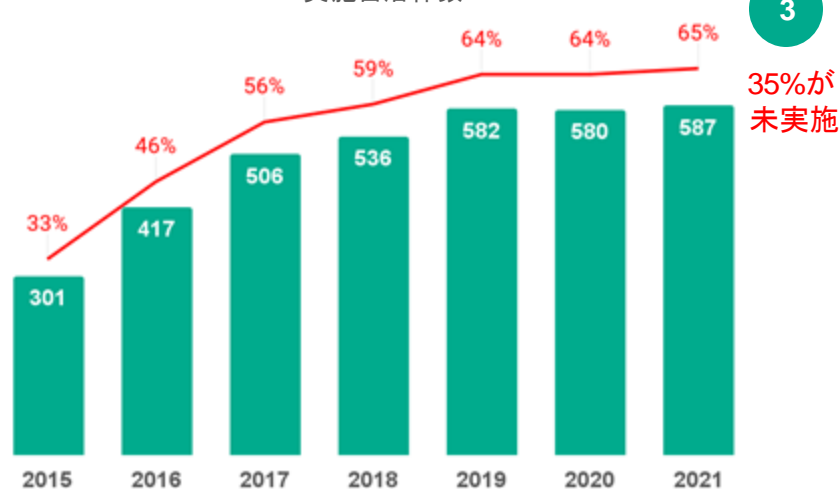
- 1 居場所利用につなげることが難しい
- 2 居場所までの交通手段の確保が難しい
- 3 地域に居場所がない

例：子どもの学習・生活支援事業

事業実施の課題



実施自治体数



※ 令和4年3月24日生活困窮者自立支援のあり方等に関する論点整理のための検討会（第3回）資料

オンラインだから居場所につながる子どもがいる

1 対人関係が苦手。オンラインだからこそ踏み出せた一歩目



(兵庫県・小4・女子)

普段は話さない男の子たち、年の違うこどもたち、ママより若いメンターさんなどいろいろな人と話せるところが好き。学校では一人ぼっちで、休み時間とかに自分から話す勇氣はないけど、**オンラインなら自分からたくさん話せる。**

2 自転車圏内に選択肢がないけど、オンラインなら参加できる



(長崎県の過疎地在住
小5女子のシングルマザー)

わたし自身の体調不良と日々の生活で精一杯の為、**送迎してあげることができず、子ども1人で通える場所がなかった**が、オンラインならわたしのサポートがなくても自分で参加できてありがたいです。

3 地域の固定的な人間関係の同調圧力を超えた出会い



(福島県の町・小4・男子)

今住んでるところには、**子どもが少ないので小さい頃からずっと一緒に楽しくないときがあります。**だから、**いろんな友達と話せるのが楽しい**です。スタッフの人もいろいろ話を聞いてくれるので、話しやすいです。

オンライン居場所をきっかけに地域へつながる

オンライン居場所

1 オンラインだからこそ踏み出せる一歩目



高2・男子

学校も休みがちで、お母さんに教えてもらった無料の学習塾にも行く気になれなくて・・・そんな気持ちのときに、オンラインは始めやすかった。**オンラインで話すうちに、もう少し頑張ってみようと思って地域の無料の学習塾に行ってみた。**

地域・自治体（オフライン）

2 地域につながっていく



自治体と協働でオンラインの居場所づくりを目指す

カタリバのオンライン居場所は、**全国16自治体**との連携によって
全国の子どもたちに居場所を提供しています

連携実績

- ・ 埼玉県戸田市（連携協定を締結）
- ・ 東京都文京区（連携協定を締結）
- ・ 埼玉県入間市（市内複数校でトライアル利用中）
- ・ 岐阜県大垣市（市内1校でトライアル利用中）
- ・ 熊本県益城町（三者協定をもとに全2中学で利用）
- ・ 広島県（連携協定を締結）
- ・ 群馬県伊勢崎市（県と連携協定を締結）
- ・ 群馬県藤岡市（県と連携協定を締結）
- ・ 群馬県太田市（県と連携協定を締結）
- ・ 愛知県春日井市（市教委と連携協定を締結）
- ・ 大阪府大東市（市教委と連携協定を締結）
- ・ 愛媛県新居浜市（県の委託事業を受託）
- ・ 愛媛県宇和島市（県の委託事業を受託）
- ・ 愛媛県上島町（県の委託事業を受託）
- ・ 茨城県（連携協定を締結）
- ・ 栃木県那須塩原市（医療連携プロジェクトとして推進）